

《担当者名》森田 美智代 (非常勤講師 morita-shinri@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

労働法、社会保険法は、企業等における雇用の場で発生するさまざまな問題を解決するためのルールである。本科目は卒業後、人生における相当の期間を費やす社会人生活に必要な労働法・社会保障制度及び現在の労働市場、雇用環境等を学ぶ。また心の問題を支援する技能を修得するため、職場のハラスメント、過労死防止、企業の安全配慮義務の知識を学ぶ。

【学修目標】

労働法の意義・仕組みを理解すること。
 日本の社会保障制度の具体的内容を理解すること。
 社会人になった時に被害者にも加害者にもならないという意志を持つこと。
 労務関係のトラブルを被った時に自分で法的に検討できるようになること。
 社会における様々なリスクを負った時に冷静に対処できる能力が身につくこと。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	授業のオリエンテーション 現場で役立つ簡単な労働法をクイズ形式で学ぶ	森田 美智代
2	労働法	最低限知っておきたい働くことに関する法律の概要を学ぶ(労働基準法・労働契約法等)	森田 美智代
3	労働法	同上(男女雇用機会均等法・派遣法等)	森田 美智代
4	我が国の社会保障	働く人を守る社会保障とはどんなものがあるのかを知る	森田 美智代
5	労働法と社会保障の実践的活用	提供する例題から、アクティブラーニングの方法で回答を考察する。	森田 美智代
6	女性・高齢者・障害者の活躍推進	時代の流れに応じたジェンダー平等を知る 高齢者雇用安定法・障害者雇用促進法を学ぶ	森田 美智代
7	賃金	時給制と月給制・基本給と手当等を学ぶ	森田 美智代
8	賃金	残業代、割増賃金の計算の仕方を学ぶ 平均賃金の計算の仕方を学ぶ	森田 美智代
9	賃金計算・ストレスチェック	賃金計算の簡単な小テスト 自身のストレスチェックを実施し、結果を自身で評価する。	森田 美智代
10	ハラスメント	ハラスメントの知識を学ぶ ハラスメントに対応する法律を学ぶ	森田 美智代
11	労働災害における判例	労働災害における実際に起こった判例から企業の安全衛生責任を学ぶ 長時間労働とうつ病の関係を学ぶ	森田 美智代
12	労災とハラスメント関連の法律	提供する例題から、アクティブラーニングの方法で回答を考察する。	森田 美智代
13	「働き方改革」関連法	働き方改革関連法の概要を学ぶ	森田 美智代
14	労働関係の終了	退職と解雇の種類を学ぶ。 企業の解雇権乱用法理を学ぶ。	森田 美智代
15	総論(まとめ)	全講義を通じての労働関連法規・社会保障制度を振り返る	森田 美智代

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

小テスト・レポート・授業への参加度20%、定期試験80%（小テスト、定期試験はテキスト持ち込み可）
小テスト、レポートは添削後、返却するので各自確認すること。

【教科書】

事前にプリントを配布する。

【備考】

<https://laborlaw.mhlw.go.jp/>

厚労省学習コンテンツ「今日から使える労働法」に新規登録を推奨

・授業内でのICT活用について：
classroomを適宜利用する

【学修の準備】

予習：事前に配布するプリントを読んでおくこと。（30分）

復習：3～4回の小テストかレポート出題がある。（60分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

DP2. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

社会保険労務士・キャリアコンサルタント・MBA（経営管理修士）

【実務経験を活かした教育内容】

社会保険労務士、キャリアコンサルタントとしての相談業務における必要な技術

実際の労働問題による判例などの講義